

平成22年7月期 第2四半期決算短信

平成22年3月15日

上場会社名 株式会社 アトラス

上場取引所 JQ

コード番号 7866 URL <http://www.atlus.co.jp/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 猪狩 茂

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長

(氏名) 落合 善美

TEL 03-3235-7801

四半期報告書提出予定日 平成22年3月16日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年7月期第2四半期の連結業績(平成21年8月1日～平成22年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年7月期第2四半期	8,148	△26.9	706	63.1	682	94.2	487	—
21年7月期第2四半期	11,162	—	433	—	351	—	△2,142	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年7月期第2四半期	34.80	—
21年7月期第2四半期	△152.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年7月期第2四半期	12,741	9,486	71.8	652.75
21年7月期	13,967	8,980	62.3	621.14

(参考) 自己資本 22年7月期第2四半期 9,149百万円 21年7月期 8,706百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年7月期	—	0.00	—	—	—
22年7月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年7月期の連結業績予想(平成21年8月1日～平成22年7月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,880	△27.9	1,202	105.2	1,200	132.1	606	—	43.23

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 株式会社ロッソインデックス) 除外 1社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年7月期第2四半期	14,017,783株	21年7月期	14,017,783株
② 期末自己株式数	22年7月期第2四半期	472株	21年7月期	414株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年7月期第2四半期	14,017,363株	21年7月期第2四半期	14,017,468株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、平成22年7月期に取り組むべき課題として、強力なIP（Intellectual Property：知的財産）を確立し、将来的に業界10位内メーカーとして安定したポジションを築くことを目標に、家庭用ゲーム関連事業への重点注力および経営資源の重点投資を推し進めております。

平成20年9月に策定した中期経営計画においては、平成23年7月期までの3ヵ年において、アミューズメント関連資産を圧縮し、コンテンツ関連分野に積極投資を行うことにより、資産効率を重視した経営スタイルへと大幅な業態転換を図ることを目指してまいりましたが、アミューズメント市場の急速な市況悪化もあり、計画よりも前倒しで圧縮を進めました。

その結果、主な事業の柱であった3事業（家庭用ゲーム関連事業、業務用ゲーム関連事業、アミューズメント施設関連事業）のうち、業務用ゲーム関連事業については平成21年3月末をもって事業廃止、アミューズメント施設関連事業については平成21年12月1日付で新設分割による分社化及び株式譲渡（新設会社の86.0%）を行い、おおよそアミューズメント関連資産については圧縮が完了いたしました。

また、平成21年10月29日に発表いたしましたとおり、株式会社ロッソインデックス（旧社名 株式会社ゴンゾロッソ）の株式（54.6%）を取得し、子会社化いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、家庭用ゲーム関連事業において、オンラインゲーム事業は市場の伸び悩み等により苦戦を強いられましたが、パッケージソフト事業につきましては、国内にて販売いたしました新作ゲームソフト「真・女神転生 STRANGE JOURNEY」（DS）、「ペルソナ3 ポータブル」（PSP）、海外での販売ゲームソフト「Demon's Souls」（PS3）等が好調に推移いたしました。

なお、上述のとおりアミューズメント施設関連事業は分社化により平成21年11月末までの4ヵ月間の業績反映となっております。

この結果、売上高は81億48百万円（前年同期比26.9%減）、営業利益は7億6百万円（前年同期比63.1%増）、経常利益は6億82百万円（前年同期比94.2%増）、四半期純利益は4億87百万円（前年同期は21億42百万円の四半期純損失）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は36億99百万円（前年同期比21.6%減）、営業利益は3億24百万円（前年同期比358.2%増）、経常利益は3億5百万円（前年度同期比634.2%増）、四半期純利益は76百万円（前年同期は22億2百万円の四半期純損失）となりました。

事業別セグメントの概況

（家庭用ゲーム関連事業）

当分野のパッケージソフト事業につきましては、国内市場では、新作ゲームソフトとして「真・女神転生 STRANGE JOURNEY」（DS）、「ペルソナ3 ポータブル」（PSP）等、4タイトルを発売し、好調に推移いたしました。また、北米市場では、「Persona」（PSP）や「Demon's Souls」（PS3）、「101 in 1 Party Megamix」（Wii）等を発売し、計画を大幅に上回り、市況は厳しいながらも好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当分野の売上高は58億56百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は10億25百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間における当分野の売上高は31億94百万円（前年同期比58.4%増）、営業利益は5億93百万円（前年同期比261.7%増）となりました。

（アミューズメント施設関連事業）

当分野につきましては、一昨年秋以降、引き続き市場全体が低迷を続けており、当社グループにおきましてもロードサイド型単独店を中心に既存店売上高も厳しい状況が続く、大変苦戦を強いられました。また、集客に寄与する新ゲーム機器の発売も少なく、新規顧客の創出には至りませんでした。このような状況から、運営コストの見直しなど収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当分野の売上高は23億5百万円（前年同期比50.8%減）、営業利益は9百万円（前年同期比95.4%減）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間における当分野の売上高は5億7百万円（前年同期比77.4%減）、営業損失は1億6百万円（前年同期は10百万円の営業損失）となりました。

なお、当事業におきましては、平成21年9月17日に発表いたしましたとおり、平成21年12月1日付けで新設分割により分社化し、同日付けで新設会社の株式の86.0%を中小企業レジャー機構株式会社へ譲渡いたしました。

よって、当第2四半期連結累計期間における業績への影響は、平成21年11月までの4ヵ月間となっております。

所在地別セグメントの概況

(日本)

日本につきましては、アミューズメント施設関連事業の分社化及び株式譲渡により、当第2四半期連結累計期間における業績反映が、平成21年11月までの4ヵ月間であったこと、及び家庭用ゲーム関連事業において、オンラインゲーム事業が苦戦した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は61億25百万円（前年同期比35.0%減）、営業利益は6億80百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間の売上高は22億18百万円（前年同期比45.4%減）、営業利益は1億44百万円（前年同期比35.2%減）となりました。

(北米)

北米につきましては、家庭用ゲーム関連事業において、米国連結子会社のAtlus U.S.A., Inc. のパッケージソフト販売が好調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は19億24百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は3億78百万円（前年同期比236.1%増）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間の売上高は13億75百万円（前年同期比91.3%増）、営業利益は3億46百万円（前年同期比578.5%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億25百万円減少（前連結会計年度末比8.8%減）し、127億41百万円となりました。主な要因としましては、当連結会計年度より株式会社ロッソインデックス（旧社名 株式会社ゴングロッソ）及び同社子会社を新たに連結したことにより同社グループに係る総資産分が増加（連結修正前総資産 12億40百万円）した一方で、当社におけるアミューズメント施設関連事業の分社化により、当該施設に係る固定資産が減少（有形固定資産合計額 4億19百万円 前連結会計年度末比△25億49百万円減、敷金及び保証金 5億3百万円 前連結会計年度末比22億93百万円減）したこと等が挙げられます。

また、負債合計は、前連結会計年度末に比し17億32百万円減少（前連結会計年度末比34.7%減）し、32億54百万円となりました。主な要因としましては、アミューズメント施設関連事業の分社化及び同社株式譲渡に伴い、当該施設の新設・運営資金として調達した借入金を返済したことにより長期借入金が減少（1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金 1億77百万円 前連結会計年度末比17億39百万円減）したこと等が挙げられます。

純資産は、業績が順調に推移し、当期純利益を計上（4億87百万円）したことによる利益剰余金の増加（90百万円 前連結会計年度末比4億87百万円増）、及び少数株主持分の増加（2億96百万円 前連結会計年度末比63百万円増）により、前連結会計年度末に比し5億6百万円増加し94億86百万円となりました。

なお、自己資本比率は71.8%となっております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末と比較して7億42百万円増加し、33億91百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況及び要因等は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して1億50百万円減少し、6億91百万円の資金の獲得となりました。

主な要因としましては、売上債権の回収額が減少（35百万円 前年同期比19億82百万円減）したものの、税金等調整前四半期純利益の計上（4億40百万円 前年同期は19億19百万円の税金等調整前四半期純損失）、及び仕入債務の増加（21百万円 前年同期比18億92百万円増）等があったことによっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して21億52百万円増加し、22億13百万円の資金の獲得となりました。

主な要因としましては、貸付金に係る収支が減少（△6億99百万円 前年同期比15億68百万円減）したものの、アミューズメント施設関連事業の分社化及び同社株式譲渡より投資有価証券の売却による収入（43億64百万円 前年同期比38億67百万円増）が大幅に上回ったこと等が挙げられます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期と比較して6億25百万円減少し、21億58百万円の資金の支出となりました。

主な要因としましては、短期及び長期借入金の返済による支出額が増加（△21億17百万円 前年同期比6億56百万円減）したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年9月18日及び平成22年2月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

株式取得により株式会社ロッソインデックス（旧社名 株式会社ゴンゾロッソ）及び同子会社である4社（ROSSO INDEX (M) SDN. BHD.（旧社名 GONZO ROSSO (M) SDN BHD.）、GOLDSKY ACCESS SDN. BHD.、GOLDSKY ACCESS INTERNATIONAL, Inc.、Goldsky Digital Technology Ltd.）を連結の範囲に含めております。なお、株式会社ロッソインデックスは特定子会社に該当しております。また、みなし取得日は平成21年10月31日であります。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（簡便な会計処理）

① 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去における簡便的な会計処理

連結会社相互間の債権と債務を相殺消去するにあたり、当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で、当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引を相殺消去するにあたり、取引金額に差異がある場合で、当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去をしております。

③ 未実現損益の消去における簡便的な会計処理

連結会社相互間の取引によって取得したたな卸資産に含まれる四半期連結会計期間末における未実現損益の消去にあたっては、前連結会計年度から取引状況に大きな変化がないと認められる場合には、前連結会計年度で使用した損益率を使用してしております。

④ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

⑤ 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,391,884	2,649,828
受取手形及び売掛金	1,843,213	1,779,876
商品及び製品	178,686	264,211
仕掛品	1,622,668	1,125,558
貯蔵品	2,299	76,692
繰延税金資産	147,221	16,922
その他	1,826,071	986,497
貸倒引当金	△58,025	△51,167
流動資産合計	8,954,020	6,848,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	217,026	4,402,820
機械装置及び運搬具	15,196	16,837
工具、器具及び備品	866,881	7,372,649
土地	37,633	207,633
リース資産	135,203	130,267
建設仮勘定	8,932	—
減価償却累計額	△812,512	△8,489,743
減損損失累計額	△49,094	△671,736
有形固定資産合計	419,268	2,968,727
無形固定資産		
のれん	639,189	419,923
その他	621,401	126,756
無形固定資産合計	1,260,591	546,680
投資その他の資産		
その他	3,372,625	4,456,513
貸倒引当金	△1,265,059	△853,024
投資その他の資産合計	2,107,566	3,603,488
固定資産合計	3,787,426	7,118,896
資産合計	12,741,446	13,967,315

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,032,156	921,840
短期借入金	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	144,800	692,000
未払法人税等	129,185	184,647
賞与引当金	101,844	144,641
売上割戻引当金	96,230	39,027
その他	1,419,314	1,143,360
流動負債合計	2,923,531	3,135,518
固定負債		
長期借入金	32,400	1,224,500
その他	298,588	627,135
固定負債合計	330,988	1,851,635
負債合計	3,254,519	4,987,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,450,002	8,450,002
資本剰余金	1,186,493	1,186,493
利益剰余金	90,814	△397,023
自己株式	△267	△245
株主資本合計	9,727,043	9,239,227
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,186	3,260
為替換算調整勘定	△562,102	△535,740
評価・換算差額等合計	△577,289	△532,480
新株予約権	40,696	40,144
少数株主持分	296,475	233,269
純資産合計	9,486,926	8,980,160
負債純資産合計	12,741,446	13,967,315

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年8月1日 至平成21年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年8月1日 至平成22年1月31日)
売上高	11,162,695	8,148,972
売上原価	8,027,409	5,090,492
売上総利益	3,135,285	3,058,480
販売費及び一般管理費	2,702,100	2,351,924
営業利益	433,185	706,556
営業外収益		
受取利息	18,533	3,697
受取配当金	3,660	1,260
受取家賃	20,925	8,868
その他	19,841	7,559
営業外収益合計	62,961	21,386
営業外費用		
支払利息	24,756	16,955
為替差損	103,667	18,271
その他	16,557	10,650
営業外費用合計	144,982	45,877
経常利益	351,164	682,065
特別利益		
固定資産売却益	—	5,874
投資有価証券売却益	85,128	—
賞与引当金戻入額	10,318	—
償却債権取立益	—	15,954
ポイント引当金戻入額	—	6,085
その他	8,651	18,482
特別利益合計	104,098	46,395
特別損失		
固定資産除却損	143,738	11,785
たな卸資産評価損	11,436	—
投資有価証券評価損	134,057	28,441
減損損失	468,743	—
事業撤退損	1,504,019	—
貸倒引当金繰入額	—	105,303
事業再編関連損失	—	124,465
その他	112,928	18,029
特別損失合計	2,374,924	288,025
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,919,661	440,436
法人税、住民税及び事業税	186,011	56,457
法人税等調整額	4,931	△147,160
法人税等合計	190,943	△90,703
少数株主利益	32,142	43,301
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,142,747	487,838

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
売上高	4,721,485	3,699,648
売上原価	3,326,014	2,124,533
売上総利益	1,395,471	1,575,114
販売費及び一般管理費	1,324,698	1,250,811
営業利益	70,773	324,303
営業外収益		
受取利息	2,210	3,113
受取配当金	90	756
受取家賃	20,925	—
その他	14,776	1,290
営業外収益合計	38,003	5,161
営業外費用		
支払利息	9,475	9,229
為替差損	55,613	7,134
その他	2,076	7,609
営業外費用合計	67,165	23,972
経常利益	41,611	305,491
特別利益		
投資有価証券売却益	64,410	—
賞与引当金戻入額	14	—
償却債権取立益	—	15,954
その他	8,651	15,962
特別利益合計	73,075	31,916
特別損失		
固定資産除却損	126,892	11,785
投資有価証券評価損	20,454	19,799
減損損失	468,743	—
事業撤退損	1,504,019	—
事業再編関連損失	—	124,465
その他	112,311	7,497
特別損失合計	2,232,421	163,548
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,117,734	173,858
法人税、住民税及び事業税	83,611	31,548
法人税等調整額	△8,964	30,212
法人税等合計	74,647	61,760
少数株主利益	10,293	36,041
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,202,675	76,056

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成21年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,919,661	440,436
減価償却費	879,415	438,272
減損損失	468,743	—
のれん償却額	106,172	80,851
貸倒引当金の増減額(△は減少)	72,995	106,088
賞与引当金の増減額(△は減少)	△98,903	△42,822
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△1,230
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	△7,897	58,565
受取利息及び受取配当金	△22,193	△4,958
支払利息及び社債利息	24,756	16,955
たな卸資産評価損	11,436	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△85,128	—
投資有価証券評価損益(△は益)	134,057	28,441
投資事業組合投資損益(△は益)	1,388	12,343
固定資産売却損益(△は益)	616	△5,533
固定資産除却損	143,738	11,785
事業撤退損失	1,504,019	—
事業再編関連損失	—	124,465
売上債権の増減額(△は増加)	2,017,809	35,172
たな卸資産の増減額(△は増加)	△167,553	△202,466
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,871,154	21,436
未払消費税等の増減額(△は減少)	78,281	△138,669
その他の資産の増減額(△は増加)	27,176	△298,688
その他の負債の増減額(△は減少)	△280,336	191,085
小計	1,017,778	871,531
利息及び配当金の受取額	26,416	4,958
利息の支払額	△25,154	△18,347
法人税等の支払額	△177,412	△166,992
営業活動によるキャッシュ・フロー	841,628	691,150

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年8月1日 至 平成21年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△71,400	—
有形固定資産の取得による支出	△740,824	△461,588
有形固定資産の売却による収入	11,550	116,299
無形固定資産の取得による支出	△31,363	△291,927
投資有価証券の取得による支出	△428,806	△104,291
投資有価証券の売却による収入	496,837	4,364,200
子会社株式の取得による支出	—	△14,697
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△409,138
貸付けによる支出	△109,000	△700,000
貸付金の回収による収入	978,423	667
その他の支出	△47,986	△407,326
その他の収入	3,775	121,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,204	2,213,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△1,100,000	△360,800
長期借入金の返済による支出	△361,000	△1,756,500
その他の支出	△71,474	△41,059
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,532,474	△2,158,359
現金及び現金同等物に係る換算差額	△43,379	△3,944
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△673,021	742,056
現金及び現金同等物の期首残高	3,203,913	2,649,828
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,530,892	3,391,884

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年8月1日 至 平成21年1月31日）

	家庭用ゲーム 関連事業 (千円)	業務用ゲーム 関連事業 (千円)	アミューズメ ント施設関連 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,416,861	1,061,425	4,684,408	11,162,695	—	11,162,695
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	34,901	—	34,901	(34,901)	—
計	5,416,861	1,096,327	4,684,408	11,197,597	(34,901)	11,162,695
営業利益（損失）	973,139	(332,982)	205,268	845,425	(412,240)	433,185

(注) 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分であり、具体的には下記のとおりであります。

- (1) 家庭用ゲーム関連事業……家庭用ゲームソフトの開発・販売、オンラインゲームパブリッシング
- (2) 業務用ゲーム関連事業……業務用ゲーム機器の開発・製造・販売
- (3) アミューズメント施設関連事業……アミューズメント施設の開発・運営

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日）

	家庭用ゲーム 関連事業 (千円)	アミューズメ ント施設関連 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,843,816	2,305,156	8,148,972	—	8,148,972
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,947	—	12,947	(12,947)	—
計	5,856,764	2,305,156	8,161,920	(12,947)	8,148,972
営業利益	1,025,239	9,464	1,034,704	(328,147)	706,556

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類・性質、販売市場の類似性及び業態により、家庭用ゲーム関連事業、アミューズメント施設関連事業に区分しております。なお、事業区分の方法については、前連結会計年度までは3区分としておりましたが、前連結会計年度において、業務用ゲーム関連事業から撤退いたしましたので当連結会計年度から2区分となっております。

2. 各事業区分の主な製品及び事業内容

家庭用ゲーム関連事業……家庭用ゲームソフトの開発・販売、オンラインゲームパブリッシング
アミューズメント施設関連事業……アミューズメント施設の開発・運営

3. セグメント別資産の著しい金額の変動

当第2四半期連結累計期間において、当社がアミューズメント施設関連事業を分社化し同社株式を中小企業レジャー機構株式会社へ譲渡したことに伴い、「アミューズメント施設関連事業」の資産が前連結会計年度末に比べて6,047,895千円減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年8月1日 至 平成21年1月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,386,110	1,776,584	11,162,695	—	11,162,695
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	36,998	42,043	79,042	(79,042)	—
計	9,423,109	1,818,628	11,241,738	(79,042)	11,162,695
営業利益	736,266	112,563	848,829	(415,644)	433,185

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北 米……………米 国

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,108,315	1,924,843	115,814	8,148,972	—	8,148,972
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	17,512	—	—	17,512	(17,512)	—
計	6,125,828	1,924,843	115,814	8,166,485	(17,512)	8,148,972
営業利益	680,096	378,276	19,960	1,078,333	(371,776)	706,556

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北 米……………米 国

(2) その他の地域…………マレーシア、台湾

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年8月1日 至 平成21年1月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,741,578	85,923	1,827,501
II 連結売上高（千円）			11,162,695
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	15.6	0.8	16.4

- （注） 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米……………米 国
 (2) その他の地域……………アジア、ヨーロッパ
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年8月1日 至 平成22年1月31日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	1,946,420	212,834	2,159,254
II 連結売上高（千円）			8,148,972
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	23.9	2.6	26.5

- （注） 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) 北米……………米 国
 (2) その他の地域……………アジア、ヨーロッパ
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。